



2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月13日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4829 URL <https://www.nihon-e.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（当社ウェブサイトにて、決算説明の動画配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年5月期第2四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	1,886	7.2	76	△43.0	83	△46.1	19	△82.2
2020年5月期第2四半期	1,759	9.2	134	74.6	154	60.3	107	286.1

（注）包括利益 2021年5月期第2四半期 36百万円（△70.9%） 2020年5月期第2四半期 124百万円（329.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	0.48	0.48
2020年5月期第2四半期	2.69	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第2四半期	6,091	5,248	81.3	123.34
2020年5月期	6,200	5,326	80.9	124.91

（参考）自己資本 2021年5月期第2四半期 4,950百万円 2020年5月期 5,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2021年5月期	—	0.00	—	—	—
2021年5月期（予想）	—	—	—	2.50	2.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	11.5	340	27.2	340	9.6	200	13.3	4.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期2Q	40,133,600株	2020年5月期	40,133,000株
② 期末自己株式数	2021年5月期2Q	ー株	2020年5月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期2Q	40,133,134株	2020年5月期2Q	40,133,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会の入手若しくは閲覧の方法

当社は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、機関投資家・アナリスト向け説明会の開催を中止することにいたしました。なお、決算説明資料及び説明動画は完成次第、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるITサービス業界を取り巻く環境は、ビジネスの成長を目的としたIoT（注1）やAI（注2）等の活用拡大、企業の生産性向上に向けた業務プロセスの効率化、自動化等のRPA（注3）への投資意欲はあるものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による投資計画の見直し・抑制等、企業動向に一部影響が出ております。

これらの状況において、当社グループといたしましては、コンシューマ向けスマートフォンアプリ、システム開発、デバッグ、クラウド、業務効率化アプリ、モバイルキッティング、音声ソリューション、電子商取引（eコマース）、業務支援等のサービスを推進し、事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18億86百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は76百万円（同43.0%減）、経常利益は83百万円（同46.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19百万円（同82.2%減）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による業績への影響につきましては、法人向け「ビジネスサポートサービス（クリエイション事業）」及び「ソリューション事業」において、感染拡大防止のための休業要請や外出自粛要請等による企業活動の停滞により、一部の案件において遅延が生じておりますが、企業のIT投資意欲は総じて高く、当社グループの業績に与える影響は軽微な状況となっております。

（注1）「Internet of Things」の略

モノをインターネットに接続して制御・認識などを行う仕組みを意味する。

（注2）「Artificial Intelligence」の略

人間の知的営みをコンピューターに行わせるための技術（いわゆる「人工知能」）を意味する。

（注3）「Robotic Process Automation」の略

認知技術を活用した業務の効率化・自動化の取組みを意味する。

各セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<クリエイション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、一般消費者向け「コンテンツサービス」においては、通信キャリアが運営するプラットフォームで提供する月額コンテンツが減少する中、定額制コンテンツを伸ばさせる一方で、App StoreやGoogle Playなどの通信キャリア以外が運営するプラットフォームでのコンテンツ提供に注力してまいりました。また、鮮魚eコマース『いなせり市場』において、「巣ごもり消費」を契機とした利用者増加に伴い、積極的な販売促進に取り組んでまいりました。

法人向け「ビジネスサポートサービス」においては、企業による業務効率化やクラウド活用が進む中、交通情報・教育・観光・調達・音声などの各種サービスの他、自社開発のサービスを活用した受託開発に注力いたしました。特にキッティング支援においては、前期の特需が剥落したものの、引き続き、企業の根強い投資意欲を背景に、大型案件の獲得やツールの拡販が相乗的かつ増勢に推移しております。

また、一般消費者向け鮮魚eコマース『いなせり市場』が増勢に推移している一方で、飲食事業者向け鮮魚eコマース『いなせり』においては、外食を控える動きの影響を受け、低調に推移いたしました。

以上の主な取り組みの結果、クリエイション事業の売上高は9億82百万円（前年同四半期比5.6%減）、セグメント利益は2億99百万円（同11.2%減）となりました。

<ソリューション事業>

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする当事業は、「システム開発・運用サービス」においては、企業のIT投資による市場拡大の状況下、スマートフォンアプリ及びサーバ構築の豊富なノウハウと実績が評価され、スクラッチ開発（注4）を中心としたアプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポートなどクリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発を推進してまいりました。

また、深刻化している人手不足問題にマッチした業務支援サービスは、大手通信キャリアを中心に積極的に営業強化する中、顧客のニーズに沿った優秀な人材の獲得、提供に注力することで大幅に伸ばした他、新たな事業領域であるAI、IoT、セキュリティ関連サービスの開拓を推し進めてまいりました。

更に、今後拡大が見込まれる端末周辺事業を創出するべく、中古端末（スマートフォン等）買取販売においては、コロナ禍におけるテレワーク（在宅勤務）の推進で端末需要が増加する中、拡大に努めるとともに、新型コロナ対策サービス・商材の開発・取り扱いを積極的に推進してまいりました。

以上の主な取り組みの結果、ソリューション事業の売上高は9億4百万円（前年同四半期比25.6%増）、セグメント利益は67百万円（同28.7%減）となりました。

(注4) システム開発で、特定のパッケージ製品のカスタマイズや機能追加などによらず、すべての要素を個別に最初から開発することを意味する。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億9百万円減少し、60億91百万円となりました。流動資産は、主に受取手形及び売掛金の増加、その他(前払費用等)の増加、現金及び預金の減少及び仕掛品の減少により前連結会計年度末と比較して95百万円減少し、52億70百万円となりました。固定資産においては、主に有形固定資産の減少により前連結会計年度末と比較して13百万円減少し、8億21百万円となりました。

負債につきましては、主に買掛金の増加、その他(未払費用、預り金等)の減少、未払消費税等の減少及び長期借入金の減少により前連結会計年度末と比較して30百万円減少し、8億42百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありました。剰余金の配当及び非支配株主持分の減少により前連結会計年度末と比較して78百万円減少し、52億48百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加額62百万円(前年同四半期は売上債権の減少額80百万円)、その他の流動資産の増加額1億22百万円(前年同四半期比1,214.0%増)及び法人税等の支払額47百万円(同24.3%増)等の資金の減少が、税金等調整前四半期純利益83百万円(同48.5%減)及び減価償却費80百万円(同8.8%減)等の資金の増加を上回ったことにより、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは62百万円(前年同四半期は3億31百万円の資金の増加)の資金の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の払戻による収入19百万円(同33.3%減)がありましたが、クリエイション事業に係るソフトウェア開発を中心に無形固定資産の取得による支出57百万円(同9.8%増)及び定期預金の預入による支出20百万円(同4.5%増)等により、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは62百万円(同56.3%増)の資金の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

株主の皆様への利益還元といたしまして配当に79百万円(同0.2%増)を支出したことに加え、長期借入金の返済による支出13百万円(同40.0%増)及び非支配株主への配当金の支払額14百万円(同7.0%減)等により、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは1億28百万円(同132.7%増)の資金の減少となりました。

上記のとおり、当第2四半期連結累計期間は各活動において資金の減少となりましたが、引き続き、効果的な設備投資及び株主の皆様への利益還元として配当に充当した結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末比2億53百万円減少し、44億32百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の連結業績予想につきましては、2020年7月10日公表の連結業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,715,635	4,463,338
受取手形及び売掛金	449,563	512,310
商品	7,782	10,037
仕掛品	76,329	45,129
貯蔵品	585	340
未収入金	2,570	7,654
その他	113,763	231,979
貸倒引当金	△454	△465
流動資産合計	5,365,774	5,270,325
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	19,691	17,767
機械及び装置(純額)	297,748	286,853
土地	12,400	12,400
その他(純額)	20,503	17,349
有形固定資産合計	350,343	334,371
無形固定資産		
ソフトウェア	285,078	285,413
その他	20,913	17,801
無形固定資産合計	305,992	303,215
投資その他の資産		
投資有価証券	56,936	56,056
差入保証金	73,787	73,075
繰延税金資産	44,446	51,793
その他	3,158	2,546
投資その他の資産合計	178,329	183,470
固定資産合計	834,664	821,058
資産合計	6,200,439	6,091,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,373	136,330
1年内返済予定の長期借入金	25,454	23,496
未払法人税等	59,466	64,321
未払消費税等	67,882	53,304
賞与引当金	—	1,080
役員賞与引当金	—	499
受注損失引当金	1,716	—
その他	306,107	265,422
流動負債合計	566,001	544,455
固定負債		
長期借入金	230,395	218,647
退職給付に係る負債	61,786	66,601
その他	15,477	13,199
固定負債合計	307,659	298,447
負債合計	873,660	842,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,108,017	1,108,118
資本剰余金	984,572	983,109
利益剰余金	2,918,043	2,857,028
株主資本合計	5,010,632	4,948,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,523	1,912
その他の包括利益累計額合計	2,523	1,912
新株予約権	4,186	4,368
非支配株主持分	309,436	293,942
純資産合計	5,326,778	5,248,480
負債純資産合計	6,200,439	6,091,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
売上高	1,759,778	1,886,336
売上原価	987,401	1,134,771
売上総利益	772,376	751,564
販売費及び一般管理費	637,861	674,869
営業利益	134,514	76,695
営業外収益		
受取利息	88	35
受取配当金	32	32
補助金収入	12,814	5,948
受取賃貸料	666	666
業務受託手数料	300	300
受取和解金	4,704	—
その他	3,528	1,454
営業外収益合計	22,132	8,437
営業外費用		
支払利息	1,590	1,408
支払手数料	183	197
為替差損	3	28
その他	133	132
営業外費用合計	1,910	1,767
経常利益	154,737	83,365
特別利益		
固定資産売却益	453	—
投資有価証券売却益	6,606	—
特別利益合計	7,060	—
税金等調整前四半期純利益	161,797	83,365
法人税、住民税及び事業税	38,462	53,429
法人税等調整額	△1,442	△7,077
法人税等合計	37,020	46,352
四半期純利益	124,776	37,013
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,779	17,761
親会社株主に帰属する四半期純利益	107,996	19,251

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	124,776	37,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	△610
その他の包括利益合計	208	△610
四半期包括利益	124,984	36,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,204	18,640
非支配株主に係る四半期包括利益	16,779	17,761

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	161,797	83,365
減価償却費	88,302	80,521
固定資産売却損益(△は益)	△453	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,606	—
のれん償却額	41	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32,000	10
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	831	499
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,108	4,815
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△1,716
受取利息及び受取配当金	△120	△67
支払利息	1,590	1,408
為替差損益(△は益)	3	28
受取和解金	△4,704	—
売上債権の増減額(△は増加)	80,768	△62,747
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,677	29,190
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,189	30,388
未払又は未収消費税等の増減額	22,187	△15,924
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△9,313	△122,375
その他の流動負債の増減額(△は減少)	15,399	△40,886
その他	△473	652
小計	306,493	△12,836
利息及び配当金の受取額	112	67
利息の支払額	△1,308	△1,408
和解金の受取額	64,814	—
法人税等の支払額	△38,590	△47,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,521	△62,153
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,790	△20,690
定期預金の払戻による収入	29,690	19,790
有形固定資産の取得による支出	△6,828	△3,428
無形固定資産の取得による支出	△52,651	△57,796
無形固定資産の売却による収入	4,000	—
投資有価証券の売却による収入	9,918	—
貸付金の回収による収入	425	—
差入保証金の差入による支出	△5,366	△2,948
差入保証金の回収による収入	890	2,985
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,712	△62,087

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	—
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△9,790	△13,706
リース債務の返済による支出	△624	△624
株式の発行による収入	—	136
非支配株主からの払込みによる収入	—	10,556
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△31,233
配当金の支払額	△79,768	△79,911
非支配株主への配当金の支払額	△15,213	△14,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,395	△128,926
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	236,410	△253,196
現金及び現金同等物の期首残高	4,255,759	4,685,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,492,170	4,432,648

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて）

前連結会計年度の有価証券報告書（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,040,122	719,656	1,759,778	—	1,759,778
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	21,842	21,887	△21,887	—
計	1,040,166	741,499	1,781,665	△21,887	1,759,778
セグメント利益	336,714	94,463	431,177	△296,662	134,514

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△296,662千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	982,324	904,011	1,886,336	—	1,886,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	14,715	14,715	△14,715	—
計	982,324	918,726	1,901,051	△14,715	1,886,336
セグメント利益	299,044	67,342	366,387	△289,691	76,695

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△289,691千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。